



1925年開業 大井川鉄道

豊かな自然と人々のつながりを

未来へ繋げ!



ありがとう!!

100周年

もうすぐ創立百周年!

乗ってみて、大鉄。

発行日 令和4年9月28日 富所 凍

二〇二五年、大井川鉄道は創立百周年、私なりに鉄道の未来を考えてみました。

新金谷



何とかが地方の鉄道も存続してほしい。エコな乗り物である鉄道をどう守っていくか自分なりに考えてきた。

祖父が鉄道マンだったため小さいころから鉄道に興味があった。特に母の同級生がよく利用していた大井川鉄道には愛着がある。

二〇二二年は鉄道開業三〇周年、歴史を感じることにも、廃線危機のニュースもあつた。絶たない。私は、鉄道は地域の歴史そのもの。と思う。バス転換の動き相次ぐ。というニュースも見るが、

作戦①
おおいがよるこ

作戦②
Point Point

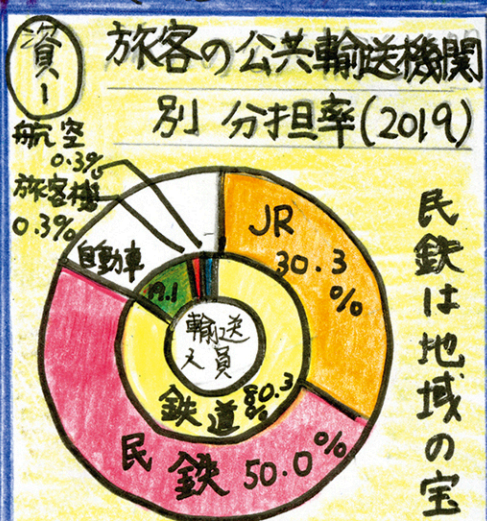
乗車券
合格
千頭
駅
ため

ポイント
ポイント

ポイント

ポイント

ポイント



資料: 国土交通省 数字でみる鉄道2020より

輸送人員の50%を占める民鉄。エコな乗り物、鉄道はこれからも残してほしい。地域の歴史の象徴でもあるからだ。

ひと駅きっぷ

大井川鉄道 新金谷ゆき 150円

みんなにうれしい。記念の駅。笑顔の駅員さんがGET

編集後記

豊かな森資源と水資源が保たれてきた大井川鉄道。トマスやしらもよいければ大井川鉄道で。あれは茶つみなど、その地域の産業や自然と結びつけて楽しんでほしい。百年後も残したい。

昭和43 大正14年3月、大井川鉄道は大井川上流部の電源開発と森林資源の輸送を目的として創立。昭和6年鈴ヶ瀬〜千頭間が全通。ゆゆ船、馬以外の初のこの地域の移動手段。昭和34年には中部電力所有の南川バスあふり線を開始。

昭和43 東急7200系 近鉄16000系

昭和に活躍した各地の電車が走っている!

地域と家族を笑顔に!

大井川鉄道

2014年 4才のころ

あ、ヤマトトマスが来たよ!

トマス来た

かたがるまもなつかしい!

今年の夏、七年ぶりにトマスに乗りました。人々の笑顔で溢れていました。変わらぬ笑顔で迎えてくれたら嬉しい。

7年ぶりにトマス

祝 SL乗車 900万人

よこそ新金谷へ

また2022 会えた! うれしい!

STATION

STATION

バスは30分後、タクシーは25分、電車は15分、電車でかかると、

STATION

ありがとう

おもてなし!!

親切に対応していただきありがとうございます。

新金谷からとある駅までのアクセスも駅員さんに聞くとときに、わざわざタクシーやバスを運転手まで聞きにいらしてくれました。